

【開催趣旨説明】

中国・四国圏広域地方計画推進室

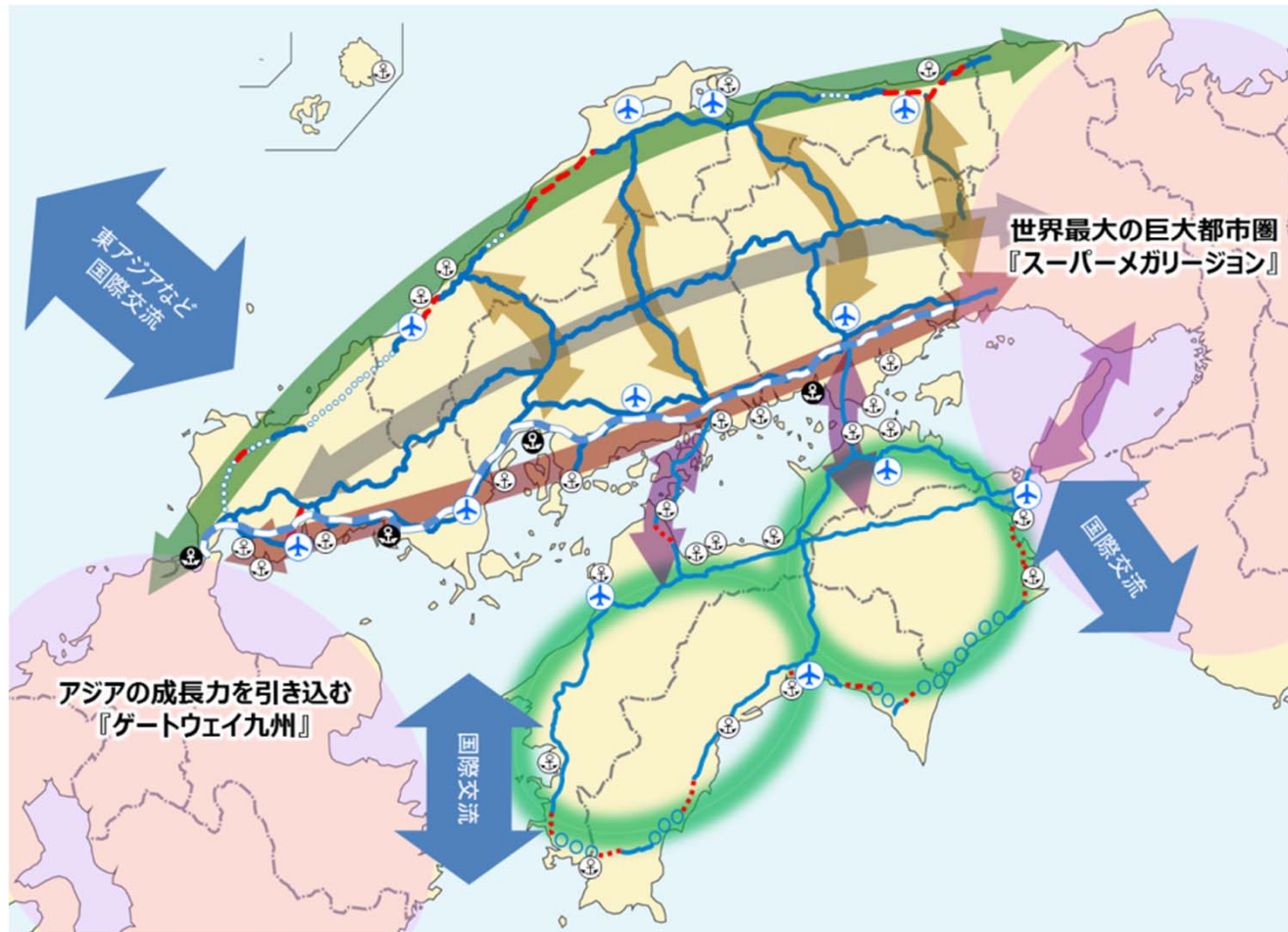
- ①中国圏・四国圏連携により普及・促進を目指していく
新たな施策「**創造定住拠点形成プロジェクト**」の紹介
(事務局より紹介：本資料)

- ②創造定住拠点形成を後押しする
田園回帰・関係人口に関わる最新の知見紹介
(講演者より紹介)

- ③新たな施策「創造定住拠点形成プロジェクト」を進める上で
必要な視点・取組課題及びその解決策等について議論
(創造定住拠点形成を目指す上島町を事例にパネルディスカッションで議論)

1. 創造定住拠点形成プロジェクトについて

- 高速交通ネットワークの整備・活用により、**情報通信など知識創造型産業を担う人材を含む多世代の定住・交流を促進。**



高速交通ネットワーク整備・活用と
質の高い定住環境整備により「創造定住拠点」形成を促進

- ・ **創造定住拠点形成ガイドブックを策定・公表予定。**
- ・ 事例集ではなく、**創造定住拠点形成に取り組もうとする自治体、更に発展させたい自治体にとっての“ヒント集”。**

1部 創造定住拠点の定義と期待される効果

- ・ 定義を分かりやすく、期待される効果を定量的・定性的に紹介

2部 創造定住拠点形成に必要な5つの視点

- ・ 創造定住拠点形成に必要な5つの視点を先進事例を踏まえながら紹介

3部 創造定住拠点形成の手順とポイント




- ・ 多様な主体の連携による地域づくりのプロセスを可視化しながら紹介

4部 創造定住拠点形成を進めるにあたって

- ・ 中国圏・四国圏連携による創造定住拠点の普及・促進の取組を紹介

3. 創造定住拠点の定義—創造定住拠点で活躍する移住者—

- ・ 移住者は「**創造的人材**」・「**地域継業者**」・「**中間支援者**」の3タイプ。

	創造的人材	地域継業者	中間支援者
人物像	<ul style="list-style-type: none"> IT技術を活かした地域づくりのキーパーソン <p>IT移住者</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 地域産業・地域組織等の継業者 <p>農業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 移住者・地域住民・行政の関係構築の調整役 <p>地域おこし協力隊</p> 
職種	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア業、デザイン業、専門料理店、映像情報制作・配給業、著述・芸術家業等の創造的職種 	<ul style="list-style-type: none"> 農業、林業、漁業等の1次産業に関する職種 	<ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊等の多様な主体の調整役に関する職種
役割	<ul style="list-style-type: none"> 創造的人材が外部資源（IT技術等）を持ち込んで、内部資源（産業・空間等）を活用して新しい価値を創造 等 	<ul style="list-style-type: none"> 地域継業者が内部資源（地域産業）や地域コミュニティを継業して、地域の継続性を向上しつつ、新しい価値を創造 等 	<ul style="list-style-type: none"> 地域における生活支援活動・コミュニティ維持・形成を支援 等

3. 創造定住拠点の定義－創造定住拠点とは－

- ・ 若い世代の価値観変化により、都会住民の地方への関わり方が多様化。
- ・ 田園回帰の機運も高まり、自然・歴史文化が豊かな地方への移住が増加。
- ・ 住民・移住者等の協働による新たな取組により地域活力が戻りつつある。
- ・ こうした移住者参加型の新しい地域づくりを「創造定住拠点」と定義。

都会（東京・大阪等）の動き



都会に
進学・就職

地方よりも都会が便利
家族と都会で暮らそう



保育所

毎日時間に追われて働くことに疑問を感じ、都会暮らしを続けることに不安や不満
【若い世代に価値観の変化】


関係人口

（観光以上移住者未満）（IT・デザイナー・専門料理店等）



関心を持って通い始めた地域、地域づくりへの参加や、移住も検討してみよう!!
【田園回帰の機運が高まる】

創造的人材



行政等が積極的に移住を受け入れてくれるので、自然や歴史的文化が豊かな地域に移り住み、地域を盛り上げながら新しい暮らしを!!
【都会からの移住者が増加】

地域継業者

（地域産業・組織等を継業）

創造定住拠点

住民と移住者等の連携による新たな取組から、地域の産業・文化の継続や、新たな産業の創出が進み、地域に活力が戻ってきた!!
【移住者参加型の新しい地域づくりが展開】

若者が地方に戻らない、地域の賑わいが低下・・・



地元住民が主体となって、何とか地域の活力を維持
【地域住民主体の地域づくり】



地方のイベント等で呼びかけたら都会の若者が関心を持って参加してくれはじめた
【都会から地方への関わり方に変化】



最近、都会からの移住希望者が増えてきた地域を案内するコーディネーターを配置しよう!!
【移住体験希望者の受入体制を充実】



関係人口

（観光以上移住者未満）

中間支援者

（地域おこし協力隊等）

地方（中四国圏）の動き

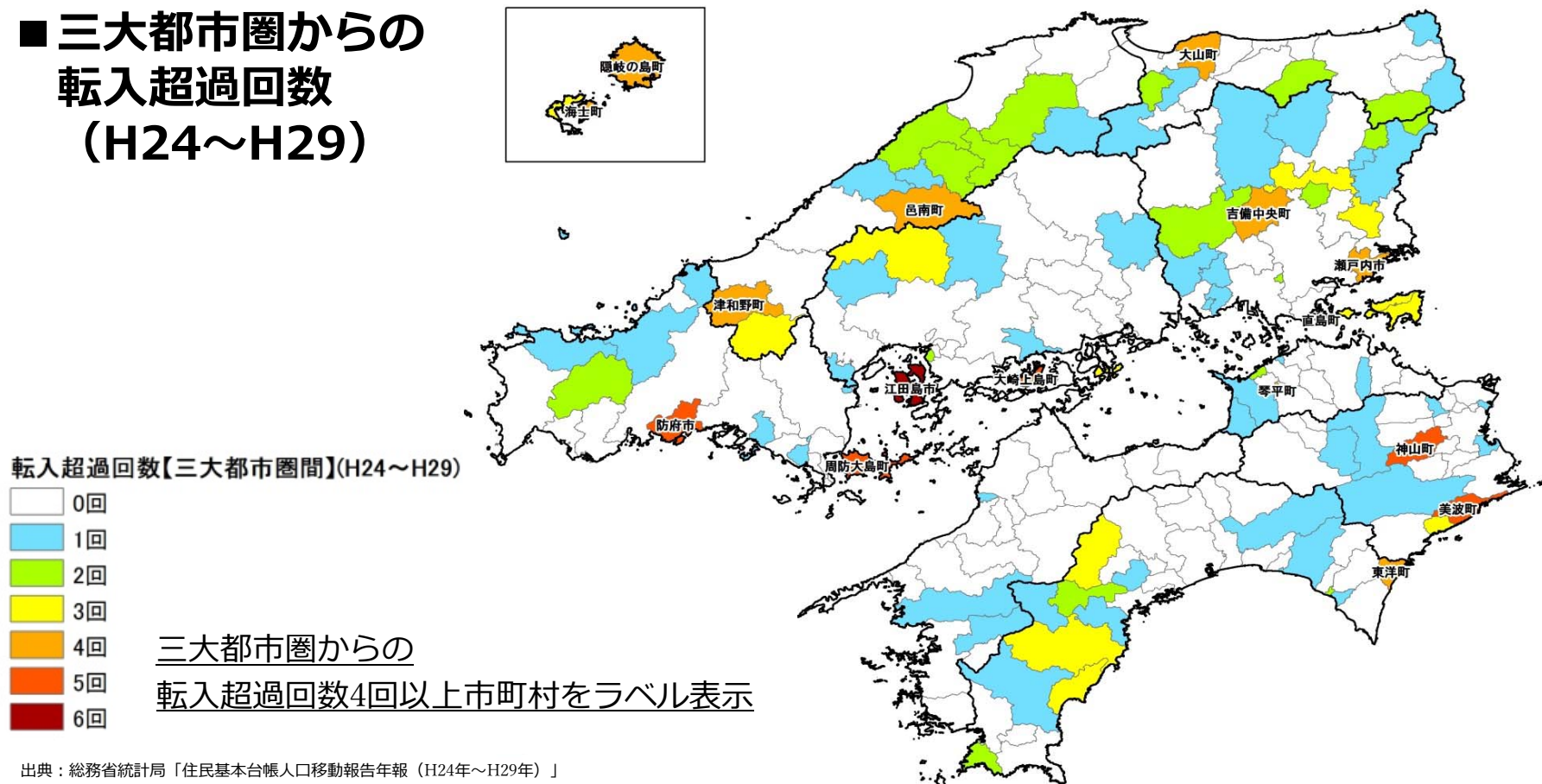
3. 創造定住拠点の定義—創造定住拠点に呼び込む人材—

・ 創造定住拠点に呼び込む人材は主として**三大都市圏居住者**。

理由	根拠
<p>① 地方圏から三大都市圏への継続的な転出超過の是正</p>	<p>■ 四国圏における社会増減の変遷 (出典：住民基本台帳)</p> <p>(単位：千人) 合計 東京圏 大阪圏 名古屋圏 地方圏 (合計単位：千人)</p> <p>東京圏・大阪圏への転出超過が顕著</p>
<p>② 東日本大震災以降の三大都市圏から地方圏への移住ニーズの高まり</p>	<p>■ 東京都区部・政令指定都市における農山漁村地域への定住願望の変化</p> <p>■ : 農山漁村地域への定住願望が「ある」又は「どちらかという」と回答した人の割合</p> <p>約2倍</p> <p>18% 35%</p> <p>H17 H26</p>
<p>③ 三大都市圏には存在しない中四国圏の魅力を活かす</p>	<p>■ 多くの文化資源、瀬戸内海の自然豊かな環境</p> <p>瀬戸内海風景</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要伝統的建造物群保存地区 世界文化遺産 都道府県指定文化財 自然保全地域 自然公園地域

- **三大都市圏からの転入超過回数が多い市町村が中山間地域に分布。**
- 将来的にはリニア新幹線全線開通等の影響により、**都会から地方への移住の流れは強まるものと予測**される。
- このため、**関係人口や三大都市圏からの移住者の受け皿として創造定住拠点における役割は今後より一層高まっていくものと考えらえる。**

■ 三大都市圏からの 転入超過回数 (H24~H29)



島根県松江市における創造的人材（IT）参加型の地域づくり

県庁所在地の中でも規模の小さい都市がIT（Ruby）を核とした地域づくりで活性化！！



<島根県松江市の位置図・概要>



創造的人材（IT）参加型の地域づくりによる効果

- ・ **三大都市圏からの転入者数増減率は他県庁所在地と比較しても卓越**
- ・ **ソフトウェア業従業者が増加しており、創造的人材（IT）の移住が進む**

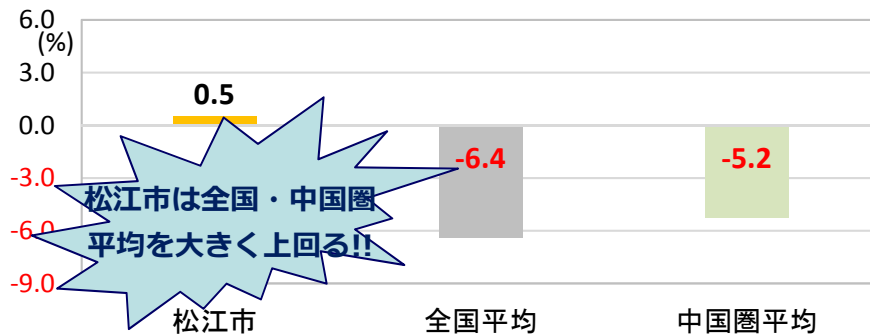


図 三大都市圏からの転入者数増減率
(H24~H29)



図 ソフトウェア業従業者数の増加率
(H21~H28)

注) 全国平均・中国圏平均は県庁所在都市を対象に集計

徳島県美波町における創造的人材（IT）参加型の地域づくり

過疎地域に指定されている地域が
サテライトオフィス事業で地域活性化!!



<徳島県美波町の位置図・概要>



創造的人材（IT）参加型の地域づくりによる効果

- ・ 三大都市圏からの転入超過回数は5回と他過疎地域と比較しても卓越
- ・ ソフトウェア業従業者が増加しており、創造的人材（IT）の移住が進む



図 三大都市圏からの転入超過回数

(H24~H29: 最大6回)

注) 全国平均・四国圏平均・徳島県平均は中山間地域を対象に集計



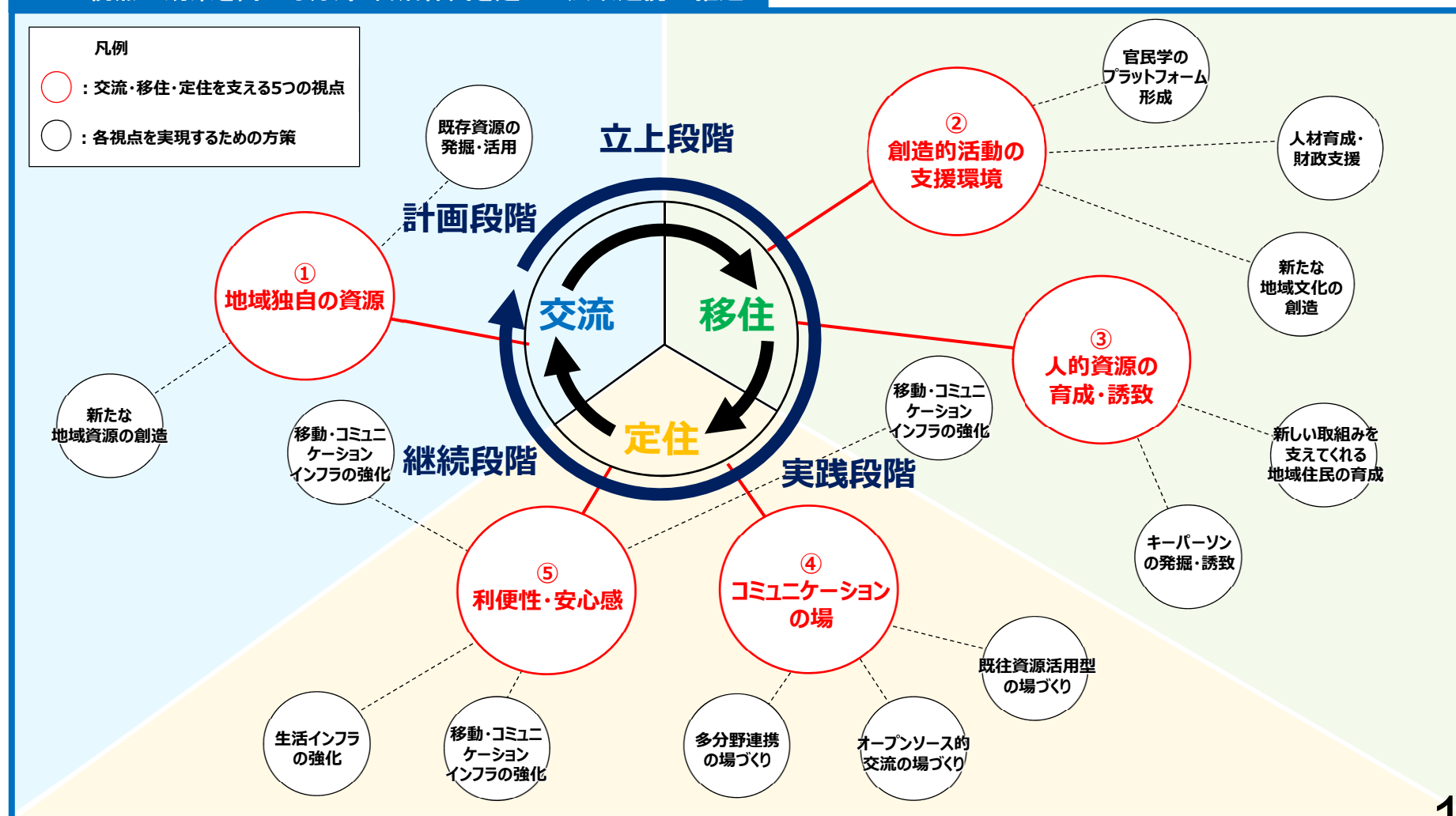
図 ソフトウェア業従業者数の増加率

(H21~H28)

5. 創造定住拠点形成に必要な5つの視点

- 交流により地域の魅力を知ってもらい、移住・定住に導く
- 5つの視点と方策については、**広域連携により効果を高める**

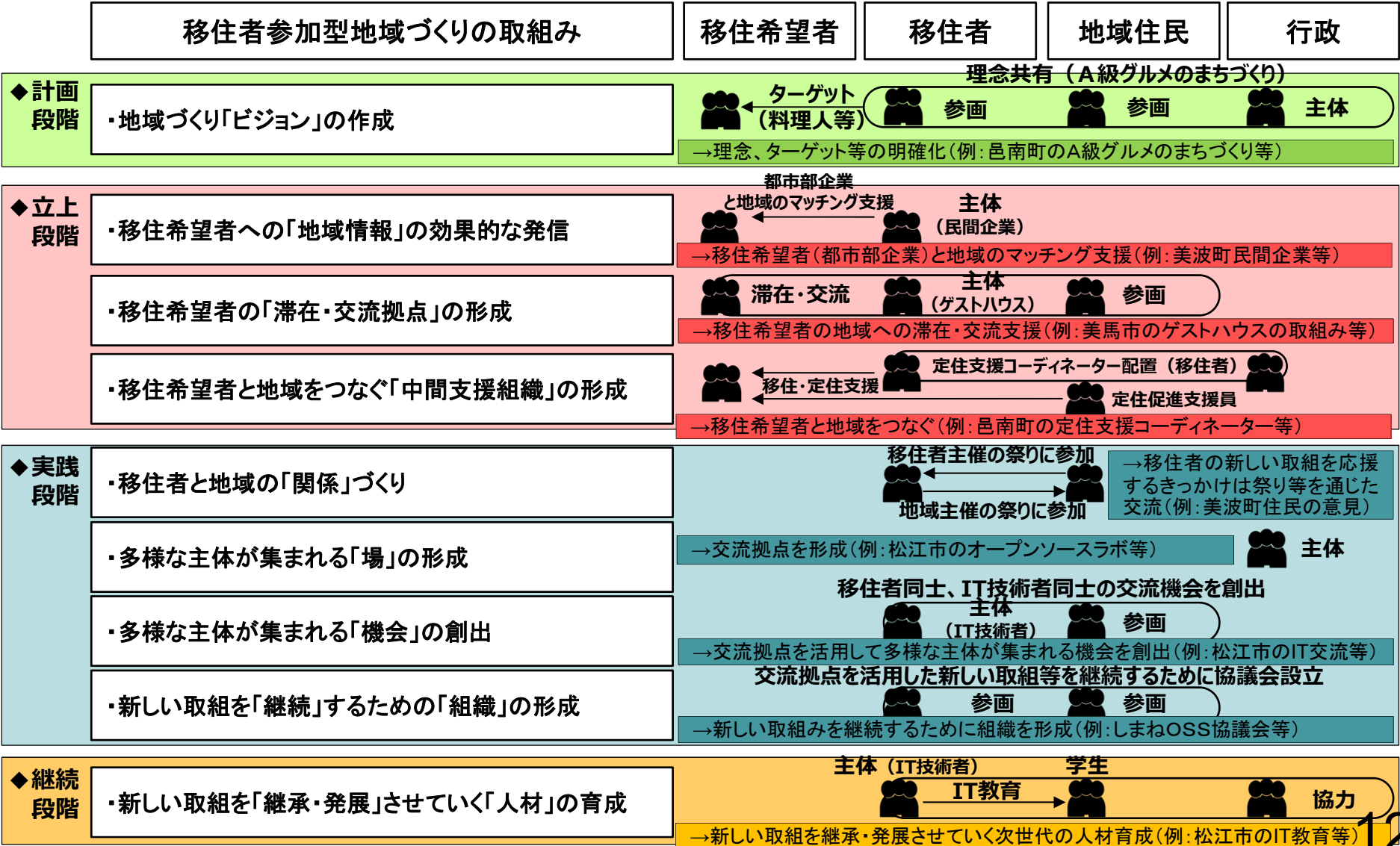
5つの視点の効果を高める分野・自治体間を越えた広域連携の推進



注1) 総務省「創造的人材の定住・交流の促進に向けた事例調査(H24.3)」に掲載されている5つの視点を参考とし、定量的分析、ヒアリング結果等より加筆修正

6. 創造定住拠点形成の手順とポイント

・ 先進地域との意見交換等を通じて、**地域づくりの各段階における重要な視点・取組を地域づくりシナリオとして明確化**。他地域への横展開を図る。



【自治体側】

- ①多様な主体が連携して**創造定住拠点形成のシナリオ**を構築
→まずは現状・課題を共有し、地域づくりの進め方を検討

- ②創造定住拠点形成のシナリオの
各段階における取組みを定量的に評価・検証
→創造定住拠点形成の取組みを持続可能なものとするため
に、必要に応じて見直しをしていく必要あり

【広域地方計画協議会側】

- ③KPI指標を設定し、**創造定住拠点形成の動向を広域的に把握**